

橋本病

患者様情報

来院されるまでの症状

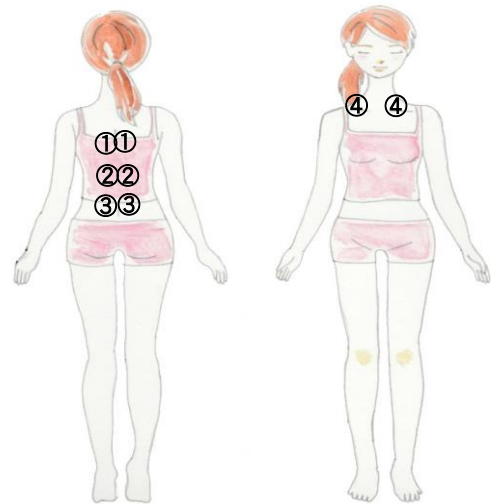
- ・倦怠感が続いていて病院を受診したところ、橋本病と診断されたそうです。
- ・薬を服用して数値は安定してきたとのことでしたが、倦怠感がとれないとのことで、お母様のご紹介で来院されました。
- ・既往歴も多く、体質改善をしたいとの要望がありました。

患者様	20代 女性
初診	2020年12月
既往症	左股関節変性症(先天性)、乱視、慢性胃炎、低血圧
他の症状	首こり、肩こり、頭痛、生理痛

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・全体的に細身で弱々しい印象を受けました。
- ・全体的な身体の冷えもあり、脈が弱かったため倦怠感がとれない状態と診立てました。
- ・「心俞」、「胃俞」、「腎俞」に浅めに置鍼し身体全体の血行を良くして、冷えの改善に務めていきました。
- ・甲状腺の付近にある「欠盆」に浅めのピーンとした反応があったため、痛みが出ないように優しく鍼で緩めました。



■ 初診後の経過

- ・身体の冷えがとれ、循環が良くなっていました。
- ・治療後の夜は深い睡眠ができ、身体が軽くなったとお話いただきました。
- ・天気や仕事の忙しさで体調に波があるため、月に2～3回の治療を継続中です。

使用した主要なツボ

- ①心俞（シンユ） ②胃俞（イユ）
③腎俞（ジンユ） ④欠盆（ケツボン）

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・橋本病は慢性的な甲状腺の炎症があり、甲状腺機能低下する疾患で、30～40代の女性に多いとされています。
- 今回の倦怠感以外にも徐脈、心肥大、うつ状態、アキレス腱反射低下、筋力低下、脱毛（頭髪、眉毛）、皮膚乾燥、過多月経、低体温などが所見としてみられます。
- ・西洋医学でも治療法はありますが、鍼灸治療もとても効果的です。
- ・倦怠感や低体温などは鍼の得意分野になりますので、早めにご相談ください。